

和歌山県特産農産物を活かした健康産業イノベーション地域

地域農産物を原料とする機能性素材開発と健康産業創出ならびに県民の健康力向上に向けた基盤整備

総合調整機関

公益財団法人 わかやま産業振興財団
〒640-8033
和歌山県和歌山市本町二丁目1番地
TEL073-432-5155

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…和歌山県商工会議所連合会 他
- 学…**和歌山大学**、**和歌山県立医科大学**、**近畿大学**、和歌山工業高等専門学校
- 官…和歌山県、和歌山県工業技術センター、（公財）わかやま産業振興財団
- 金…（株）紀陽銀行



プロジェクトディレクター
前田 育克

略歴：和歌山県工業技術センター副所長。専門 高分子化学。和歌山大学客員教授、博士（工学）大阪市立大学。

和歌山の特産果樹は種類・質・量とも全国トップクラスだが生産額は低下傾向にある。その中で「梅」は栽培・加工・製品化まで集積型食品産業を形成し地域経済を活性化させてきた。このモデルを他の果樹に展開することが地域産業振興の課題であり、果樹の保健機能成分による新たな価値提案や新規食品加工技術開発による商品の高付加価値を産学官金一体で取組んでいる。

地域イノベーション戦略

当地域におけるイノベーション戦略は、特産果実類の保健機能成分の解明と効能検証、高付加価値な加工食品の開発などを進め、基盤産業の改革、健康産業の創出へと発展させます。同時に県民の健康意識の向上と保健機能食品の適切な活用、消費事業育成を図るため、食・運動・健康に関わる人材の育成プログラムの開発と健康マネジメントシステムを構築し、県民の健康力を向上させ健康長寿社会の創出を目指します。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

（実施機関：近畿大学、和歌山県立医科大学）

地域特産農産物由来の機能性物質探索と生活習慣病予防に向けた健康食品開発に関する研究を加速するため、当該地域に中核となる研究者を4名招聘する。

- ①健康長寿を指向した和歌山県特産果実由来の消化管機能改善成分の探索と機能解明
- ②和歌山県の特産果実に含まれる二次代謝産物の利用技術の開発
- ③和歌山県特産農産物からの「ヒトの免疫作用に効果を及ぼす食品由来の機能性物質」の探索
- ④植物由来保健機能成分による脂質代謝改善、糖尿病予防に関する研究

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施

（実施機関：和歌山大学、和歌山県立医科大学）

■和歌山大学

わかやまシニアエクササイズと機能性食品を融合させた「ハイパワー高齢者自立支援プログラム」による高齢者の体力増進の効果検証を進めると共に、健康推進リーダーの育成プログラムを作成する。

■和歌山県立医科大学

健康寿命の改善を目指し、モデル地域でのコホート研究による地域健康特性調査と機能性健康食品の効果検証を行う。保健・栄養面から県民（特にシニア）を支え、食による健康マネジメントを先導する人材育成プログラムの作成を行う。また、地域での講習会の開催及び食育による健康増進のPR事業を行う。

3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：（公財）わかやま産業振興財団）

（公財）わかやま産業振興財団に事業推進役（プロジェクトディレクター、医農・医学・地域連携コーディネータ）を配置し、研究・技術動向や市場トレンドを把握することで、シーズとニーズの最適なマッチングを図りながら効率的な事業化を推進する。体制としては事業戦略会議の下、研究テーマ進捗会議で招聘研究者の研究課題、進捗等について、又、事業化に向けた地域連携として農産物有用化合物活用研究会並びに元気シニア社会創出実務連携会議を立上げ、産学官金の知恵の結集を図ることで新たな商品化・事業化や健康寿命向上に向けた仕組等の構築を推進する。



実用化事例：
梅酢ポリフェノール